

平成26年度全国高等学校選抜自転車競技大会 大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治
総務委員長 中梶 秀則
審判長 高畑 秀規

共通事項

(1) ヘルメット

- ア 選手はJCF公認およびJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- イ JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。
- ・スプリント予選（200mタイムトライアル）
 - ・タイムトライアル
 - ・インディヴィデュアルパーシュート

(2) ヘルメットカバー

- ア 트랙・レースのケイリン、ポイント・レース、スクラッチで使用する。
配付は招集所、回収は敢闘門内の回収所で行う。
- イ 女子ロード・レースではヘルメットカバーを使用する。配付・回収とも大会本部で行う。

(3) フレーム・規定外自転車

- 上記の使用を希望する者は、申請書をライセンスコントロール時に学校単位(男女別)にまとめて提出する。なお、申請書は専門部ホーム・ページからダウンロードすること。
- ※1ブリヂストン・サイクル社製カーボンフレーム（FPCPT）は、使用を認めるので申請の必要はない。
- ※2 上記に類するフレーム、身体形態上の理由により規定外のサイズの自転車を使用する場合は、申請の必要がある。
- ※3 申請記載事項によって、大会中に随時検査を実施する。

(4) ギア制限

- 16歳以下の場合も、JCF競技規則ジュニアのギア比（7.93m）を上限とする。

(5) ボディ・ナンバー（ゼッケン）装着方法

- 2枚付ける場合は5cm以上の間隔を空けて腰部に付けること。1枚の場合は腰部中央に取り付ける。
ゼッケンは折り曲げたり切ったりしてはならない。
- 男子ロード・レースでは、ヘルメット左右の側面に番号シールを、フレームプレートを右側から確認できるように装着する。

(6) コミュニケ

- ア コミュニケ等は指定された掲示板に貼付する。
- イ スタートリスト、リザルトは配付しない。HPに随時アップするので、利用すること。

トラック・レース

(1) 走路の入退場（選手・監督等）

レース中の入・退場はバック側それぞれ専用出入りローカ所とする。

(2) 招集

招集所はバック側選手管理棟1階に設置する。出走意志、ジャージ、ヘルメットおよびボディナンバー等の確認並びにケイリンの抽選を行う。

(3) 自転車検査（ギヤ比検査を含む）

- ア 走路外からインフィールドに入る自転車は、すべて無作為抽出により検査を行う。
- イ 再入場時は検査の対象となる。
- ウ スタートに間に合わない場合は、出走することはできない。スペアバイク・スペアホイールも同様とする。
- エ 競技終了後、指示を受けた競技者は、ギヤ比検査を受けること。場所は監督会議で指示をする。
- オ タイムトライアル、パーシュートについては、選択するポジションを申告すること。
- カ 招集および自転車検査はそれぞれのレースの15分前までに完了すること。

(4) レース前の確認と諸注意

スプリント、ケイリン、ポイント・レース、スクラッチに出場する選手は、招集・自転車検査後に集団での安全走行に関する規則の確認と留意点についての説明を受けることを義務づける。場所は監督会議で指示をする。

(5) ホルダー

タイム・トライアル、パーシュート以外の種目は、各チームのスタッフがホルダーを務める。ただし選手が有利になることを目的として前方へ押し出さないこと。

(6) 監督等による競技中の指示および場所

タイム・トライアルとパーシュートはスタートライン付近に、その他の種目はバック側インフィールドの指定場所にていずれも選手1名につき1名を認める。

(7) タイム・トライアル

- ア スタート方法
スターティングマシンを使用し、50秒カウントダウンによるホーム・バック同時スタートとする。
- イ 組合せの変更
欠場者及び機材トラブルなどの理由から出走できない場合は、単独発走となる。ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(8) スプリント

- ア **予選はバック側インフィールドよりスタートし、800mの距離で実施する。**
- イ 予選上位12名により1/8決勝を行う。
- ウ 1/4決勝から2回戦制を行う。

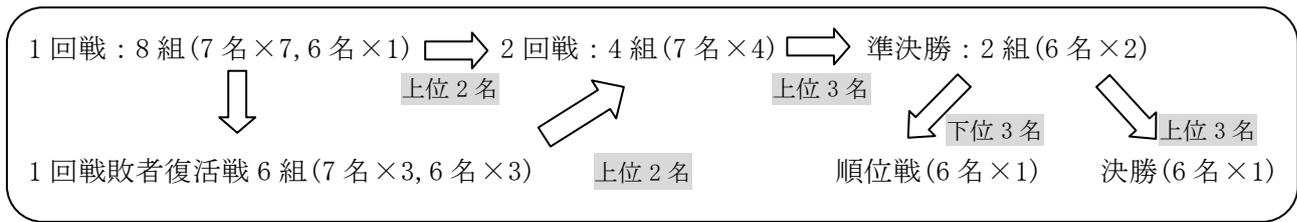
(9) インディヴィデュアル・パーシュート

- ア スタート方法はタイム・トライアルと同様とする。
- イ 予選の上位1・2位で決勝戦、3・4位で3～4位決定戦を行う。また、予選のタイムにより5～8位を決定する。
- ウ 予選では追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。

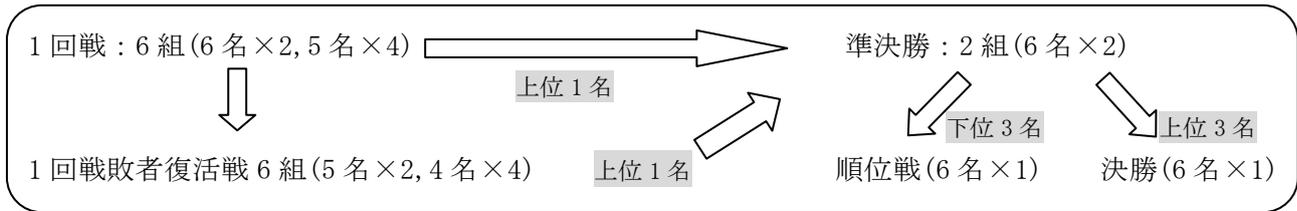
(10) ケイリン

ア 周回数 4 回で実施し、ペーサーの離脱位置は残り 2 周回の 4 コーナー付近とする。

イ 男子の勝ち上がり方式は以下の通り。



女子の勝ち上がり方式以下の通り。



(11) スクラッチ

男子は予選 6 km，決勝 8 km（20 名），女子は予選 4 km，決勝 6 km（14 名）で実施する。

(12) ポイント・レース

予選 12 km，決勝 24 km（24 名）で実施する。

(13) スクラッチ，ポイントレースの共通事項

ア スタート位置

下図のとおり指定されたレーンに先着順で，スタート位置につく。

なお，選手は各チームのホルダーに支えられた状態で，約半数がそれぞれイン・レーン，アウト・レーンに並ぶ。

※ただし，ヘルメットカバー（白）1 番選手はインコースの先頭につく。



イ チームスタッフの待機場所について

スペアバイク・スペアホイールを準備する場合，チームスタッフは競技役員の執務の妨げとならない場所^{（6）}で認められた方法・場所以外での選手に対する指示や声援は禁止する。

ロード・レース

(1) 招集および自転車検査

- ア 日時：3月22日(日) 9:00～9:40 あんずの丘 大会本部テント
スタート前 ジャージ, ヘルメット, ボディーナンバー, フレームプレート, 計測チップの
チェックおよびサインシートへの記入(フルネーム)
フィニッシュ後 上位20名程度は自転車・ギア比検査を実施する。

- イ シード 男子は昨年度の選抜大会, 本年度のインターハイ・国体の上位入賞者をシードし, 開催都道府県選手とともに最前列に位置する。女子は, 昨年度の選抜大会, 本年度の都道府県大会の上位入賞者をシードとする。その他の選手は先着順とする。

(2) 距離および走行について

(男子) 11.5km×7周回 80.5km

(女子) 11.5km×3周回 34.5km

完全交通規制された周回コースで実施するが, 男子はスタート直後, 大会運営上の理由により集団をコントロールする場合がある。

(3) スプリント賞

男子は1～3周回目に, 女子は1～2周回目に, フィニッシュ地点を1位で通過した競技者にスプリント賞を与える。(フィニッシュは除く)

(4) 山岳賞

男子は5, 6, 7周回目に, 女子は1, 2周回目に1位通過者に山岳賞を与える。

(5) 補給について

ア 男子について飲食物および機材の補給は, 5, 6周回目に指定場所で行う。

イ 移動車両によるニュートラルサービスを実施する。ニュートラル車両および積載車輪情報については監督会議で説明する。

(6) 関門での打ち切り

関門所はフィニッシュ地点とし, 毎周回8位を含む集団から5分以上遅れた競技者を打ち切りとして除外する。